

「消防学校ニュース」

平成 28 年 8 月 15 日発行

◆ 第 2 回野外訓練 — 夜間強歩訓練 —

8 月 9 日から 10 日にかけて、初任科第 85 期の第 2 回野外訓練を実施しました。この訓練は、静岡県内の消防職員として、東海地震・南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、長時間にわたる災害対応に必要な強靱な体力・精神力を養成し、消防部隊活動における団結力の必要性を再認識することを目的とし、毎年実施しています。

第 1 部は、昼間(16 時頃まで)の学校訓練施設での救助訓練、応用訓練、体力練成訓練(写真は体力練成訓練。消防の実技を組み合わせたサーキット)。

第 2 部 夜間強歩の様子(田子の浦港付近)



◆ 訓練の安全を期して！

訓練の基本は安全管理です。訓練前には、教官たちが訓練コースや休憩ポイントを徹底的に下見。学生に対しては訓練内容・目的をしっかりと理解させ、学校の実施・安全管理体制も整えました。

教官 12 人は学生と一緒に歩き、並走のマイクロバス等救護車両 3 台や教官同士で連絡(無線通信機を所持)をとりながら、学生ひとり一人の動きに目を光らせました。一方、学校には総務課職員が夜間も詰め、支援体制を執りました。

第 1 部 三連はしご搬送



第 2 部は夜間強歩訓練。第 1 部終了後、スタート地点の沼津千本浜公園へ移動し、19 時半過ぎから徹夜で消防学校までの約 42 km の道程を約 20 kg の荷物を背負って歩きました。学生 113 名のうち 111 名がチャレンジし、体調不良により脱落者があったものの、熱帯夜の蒸し暑さ、夜明け後の刺すような陽光と厳しい暑さの劣悪条件によく耐え、91 名が完歩、翌朝 10 時頃に帰校しました。

◆ 水難救助科修了——実践的訓練で救助技術を磨く——

水難救助科第 24 期は、実践的な訓練で救助技術を磨き、8 月 5 日(金)に 2 週間の訓練を終了しました。8 月の実技訓練は、消防学校プールでスキューバダイビングや各種救助法を繰り返し返えた後、海洋に場所を変えて実地訓練を行いました。清水港三保海水浴場では各種検索法や作業要領などの応用訓練、用宗港外港では各種潜水や防災ヘリコプターとの連携などの総合訓練を行いました。水難災害現場で応用力を発揮できるよう、地元消防本部に戻ってからも、さらに研鑽を積んでいきます。

清水港三保海水浴場での訓練の様子

